

1日1回食べればお肌もしっとり n3油をたっぷり とるための 魚の選び方&調理法

魚料理を楽しむための 3大原則

初心者は「自分ではさばかない」と
割り切ろう。切り身や干物を買うか、
店に頼んでさばいてもらえばOK。
これなら特別な技術は要らないし、
まな板が生臭くなることもない。
魚焼きグリルを洗うのが面倒なら、
焼くのはフライパンで(29ページ)
食べ残した皮や骨のにおいが
気になる人はゴミの日まで冷凍を。

買うのは
切り身や
干物などの
下ごしらえ
不要の魚を!

後片付けが
面倒なグリルは
使わない!
フライパンで焼く

食べたあとの
皮や骨などは
においがイヤなら
ゴミ収集日まで
冷凍庫へ

常備しておく便利!

そのまま食べても料理に使っても
おいしく手軽な青魚の缶詰



左/「マルハ さば水煮 月花」
200g、189円。肉厚でボリューム
のあるサバが原料。天日塩を
使用することで、サバのうまみを引き
出しているという。問/マルハ
ニチロ☎0120-170811

中央/「あけぼの EO缶 からだ
に思いやりさんま水煮」150g、
158円。北海道で水揚げされた
サンマの中で、特に脂のつったも
のを使用。問/マルハニチロ

右/「いわしくん 水煮」200g、
399円。鳥取・境港で水揚げさ
れたイワシを水煮にして、ショウガ
やみりんなどで味付け。問/Dr.
ミール☎078-332-3970

研究者や医師らの話を総合すると、理想的なn3油の摂取量は、じっくりと体質を改善したいなら1日1g程度、「花粉症を軽くしたい」など、短期的かつ積極的な効果を求めるなら2~4gとされる。

1gというのは、左に掲げた魚なら、切り身で1切れ分(約100g)食べるだけでクリアできる。魚の種類もこんなにあるので、1日に1回は魚を食べよう。ただし妊娠中の人は、魚の選択に注意を(64ページ)。

でも、調理が面倒では? まな板やグリルを洗うのは面倒だし、という人でも大丈夫。自分ではさばかない、後片付けが面倒なグリルを使わない、そんな調理法でも十分においしくできる(28ページから)。

n3油の効果を得るために最も重要なのは、n3油以外の油を減らすこと。特に、サラダ油などに多いn6油は控え気味にしたいので、揚げ物は避けよう。n6油をとりすぎると、せっかくとったn3油が効果を発揮しにくくなる。

冷蔵庫に生魚がない日のために、缶詰も常備しておきたい。これもn6油をとらずにすむ水煮缶がお薦め。

魚のパワーで、元気&キレイを手に入れよう!

n3油の効果を 上げるための 3大原則

サラダ油(大豆油やコーン油)に多い
n6油(リノール酸など)も
体には必要な油成分だが、
とりすぎるとn3油の効果を弱めてしまう。
油炒めや揚げ物はなるべく避けて。
魚を調理する場合も、余分な調理油を
とらずにすむ塩焼きや蒸し焼きがお薦め。
油を敷いて焼く場合はn6油でない
オリーブオイル(オレイン酸)を使おう。
n3油の量は1日1g以上を目安に。
また、油のとりすぎにならないように、
魚を食べるときは、肉を食べないなど工夫を。

肉料理や
調理に使う油を
できるだけ
減らす

生か
塩焼きがベター
油炒めや
揚げ物は
避けて

n3油にして
1日1g以上を
目安に食べる

n3油をとるにはこんな魚を

魚の名前	n3油の量(100g当たり)
アンコウ(アンコウの肝)、生	7.68
ノルウェーサバ、焼き	6.50
ノルウェーサバ、水煮	6.44
シメサバ	6.03
ノルウェーサバ、生	5.88
本マグロのトロ、生	5.81
インドマグロのトロ、生	5.01
イクラ	4.70
アトランティックサーモン(養殖)、焼き	3.93
ブリ、焼き	3.73
真イワシ、焼き	3.32
ギンザケ(養殖)、焼き	3.27
真イワシ、生	3.16
タチウオ、生	3.15
真イワシ、水煮	3.05
サンマ、焼き	2.96
ウナギ、蒲焼き	2.87
真ダイ(養殖)、水煮	2.56
真ダイ(養殖)、焼き	2.53
ウナギ、白焼き	2.27
真アジ開き干し、焼き	2.21
真サバ、焼き	2.11
メザシ、焼き	2.02
真サバ、水煮	1.93
大西洋アジ、焼き	1.89
アナゴ、蒸し	1.69
サワラ、焼き	1.69
大西洋アジ、生	1.64
真サバ、生	1.53
大西洋アジ、水煮	1.48
シシャモ、焼き	1.41
真アジ、焼き	1.17
アユ(養殖)、焼き	1.16
ベニザケ、焼き	1.16
ウルメイワシ、丸干し	1.09
カンパチ、生	1.07
カマス、焼き	1.03
サケ、焼き	1.01
真アジ、水煮	1.00

一般的に手に入りやすく、食べられる状態で100g中のn3油の量が1g以上あるものをピックアップし、多い順に並べた。
(データ: 五訂増補日本食品標準成分表)

